

科目名 公衆衛生学 時間割表記名 公衆衛生学		配当時期 2 年次 前期 単位数 1 単位 時間数 30 時間(15 回)	講義担当者 上野達郎
事前学習内容			
授業目標 1. 公衆衛生の概念と、人間と自然環境について理解することができる。 2. 衛生統計と衛生行政について学び、現代社会の動向や問題について理解することができる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 公衆衛生とは何か 1)健康の定義 2. 公衆衛生の歴史 1)世界各国と日本 2)公衆衛生の今日的理解 3)地域活動について (1)世界各国における公衆衛生の状況と体制 (2)日本の保健医療福祉体制の長所と短所	講義	テキスト①②
2	3. 環境と健康	講義	テキスト①②
3	4. 環境と公衆衛生		
4	1)酸素、二酸化炭素、窒素、一酸化炭素、亜硫酸ガス、塵埃、空気と体温調節、気温、気湿、気流、感覚温度、不快指数、騒音とデシベル、放射線 — 赤外線、可視線、紫外線、放射線、大気汚染状況、水—上水道、簡易水道と専用水道、水—生活排水と産業排水、生化学的酸素要求量、地球温暖化—オゾン破壊、酸性雨、海洋汚染、砂漠化減少、水質汚濁：水俣病とイタイイタイ病、PCB、ABS、水質汚濁の指標(BOD・COD・DO・SS)、騒音・振動・悪臭、産業廃棄物		
5	5. 食と公衆衛生		
6	1)健康づくりと食(食生活がもたらす健康問題、栄養の改善と公衆衛生)、健康の維持と食品保健(食品保健の考え方、食品管理、食品がもたらす健康障害) 2)食品衛生法		

7	6. 人口と公衆衛生 1)日本の人口構成と少子高齢社会 2)平均寿命と健康寿命 3)乳児死亡MRIの意味 4)家族の在り方、生命表	講義	テキスト①②
8 9	7. 国民の健康と保健統計 1) 保健(衛生)行政の4つの柱(一般保健行政・学校保健・労働保健行政・環境保全行政)、保健行政の歴史的発展(歴史的変換と時代ごとの問題点の推移、わが国の保健所の体制と機能・その国際的な比較と独自性、今後の保健所に期待される新しい機能)、地域保健医療福祉計画について、今後の環境問題と計画・課題	講義	テキスト①②
10 11	7. 国民の健康と保健統計 2)保健統計と資料保存、将来計画の重要性、人口動態調査、国民生活基礎調査、感染症発生動向調査、結核登録患者、国民栄養調査、国民医療費、健康指標、平均余命、平均寿命、粗死亡率、傷病統計(罹患率、有病率)、国際疾病分類 ICD(受療率)、医療関係者統計、国民医療費統計、統計のシステム(体制)	講義	テキスト①②
12	8. 疾病の疫学と予防 1)疫学とは何か、疾病成立のモデル 宿主－病因－環境、四種の病気の分類、危険度・分析疫学	講義	テキスト①②
13	9. 感染性疾患の疫学と予防 (防疫体制、顕性感染・不顕性感染・日和見感染・院内感染、感染症発生動向調査事業、流行予測、最近注目される感染症)、非感染性の疫学と予防	講義	テキスト①②
14	10. 公衆衛生における今日的課題と展望 1)社会経済の発展と公衆衛生、科学技術の進歩と公衆衛生、国際化社会における公衆衛生、公衆衛生における人材育成	講義	テキスト①②
15	まとめ (45 分) 筆記試験(45 分)	講義 試験	
受講上の注意			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度2 公衆衛生 医学書院 ②国民衛生の動向 参考文献			